

JEITA2012技術セミナー 「日本エレクトロニクスメーカーの再生」

- 主催：関西支部運営部会・関西IT・ものづくり技術委員会
- 担当部署：関西支部
- 参加者数：約170名

概要

日本の製造業は、為替、税制、インフラコスト等の悪条件もあり、厳しい局面に立たされている。打開の糸口を見出すべく、多面的な視点から分析と提言を得るため、9月14日（金）に大阪府中央区の大阪歴史博物館にて「日本エレクトロニクスメーカーの再生」をテーマに「JEITA2012技術セミナー」を開催した。

最初に、神戸大学大学院経営学研究科教授の松尾貴巳氏より、日本のコストマネジメントの意義と課題が解説された。株主価値重視の経営と部門業績の明確化でよしとするのではなく、バランスの取れた管理システムを築く必要性が説かれた。

次に、エムジェイアイ(株)代表取締役の前田悟氏より、日本の家電メーカーが厳しい状況にあることについて、円高等の外的要因や経営手法の誤りに原因を求める意見があ

るが、根本は、ユーザー・市場のニーズにマッチする商品を開発できていない点にある。海外メーカーの追随ではなく、未開拓の市場を創出する商品開発に力を注ぐべき、との指摘があった。

最後に、ドイツ証券(株)シニアアナリスト中根康夫氏より、FPDの視点から見た今後のアプリケーション動向が説明された。技術進歩により各アプリはモバイル機器に集約される方向に進む。それぞれの市場予想や主要企業の分析を通じて、勝ち組の条件が示された。

質疑応答も活発に行われ、終了後のアンケートでは満足度の高い評価が得られた。



プログラム

○開会挨拶

関西IT・ものづくり技術委員会 委員長 佐藤仁一氏（シャープ(株)）

○「日本企業の管理会計システムの課題」

ーコストマネジメントと組織業績管理を中心としてー
神戸大学大学院 経営学研究科 教授 松尾貴巳氏

○「新興国に於ける家電企業の姿に見る日本家電の現状と、復活のために！」

エムジェイアイ(株) 代表取締役 前田 悟氏

○「FPD業界の見通し、FPDからみたTV、PC、携帯・スマートフォン市場と勝者の条件」

ドイツ証券(株) シニアアナリスト 中根康夫氏

○閉会挨拶

関西IT・ものづくり技術委員会 副委員長 渡辺善規氏（パナソニック(株)）